

届 出 書

土木建築事務所長

該当を○で囲み、不要を消すこと。

届出当日の日付

令和○年○月○日

〇〇

市長

殿

カタカナで振り仮名をつける。
外国人の場合は、氏名をカタカナで記入する。

発注者又は自主施工者の氏名（法人にあつては商号又は名称及び代表者の氏名）

ヤマグチ タロウ
山口 太郎

個人の場合は本人の住所。
法人の場合は主たる営業所所在地。
契約の権限が支社長等に委任されている場合は委任者名でも良い。

(郵便番号 〇〇〇-〇〇〇〇) 電話番号 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇

住 所 山口県〇〇市〇〇-〇〇

(転居予定先)

(郵便番号 -) 電話番号 - -

住 所

転居予定の場合は、連絡が取れる住所等を記載する。

建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律第10条第1項の規定により、下記のとおり届け出ます。
記

1. 工事の概要

①工事の名称 〇〇マンション新築工事

町名、大字・字名、丁目、番地、筆に至るまで記載すること。(複数の番地・筆におよぶ場合は代表で可。)

②工事の場所 山口県〇〇市〇〇-〇〇

③工事の種類及び規模

☐ 建築物に係る解体工事 用途 _____、階数 _____、工事対象床面積の合計 _____ m²☒ 建築物に係る新築又は増築の工事 用途 共同住宅、階数 13、工事対象床面積の合計 11,000 m²☐ 建築物に係る新築工事等であつて新築又は増築の工事に該当しないもの

用途 _____、階数 _____、請負代金 _____ 万円

該当の□に✓
をすること。☐ 建築物以外のものに係る解体工事又は新築工事等

請負代金 _____ 万円

請負代金は、消費税を含む。

④請負・自主施工の別: ☒ 請負 ☐ 自主施工

該当の□に✓をすること。

カタカナで振り仮名をつける。

2. 元請業者（請負契約によらないで自ら施工する場合は記載不要）

①氏名（法人にあつては商号又は名称及び代表者の氏名）

マルマルケンセツ ケンセツ ジロウ
(株)〇〇建設 建設 次郎

(郵便番号 〇〇-〇〇〇) 電話番号 〇〇〇-〇〇-〇〇〇(現場事務所) (郵便番号 〇〇-〇〇〇) 電話番号 〇〇〇-〇〇〇

②住 所 山口県〇〇市〇〇-〇〇 (現場事務所) 山口県〇〇市〇〇〇

③許可番号（登録番号）

☒ 建設業の場合建設業許可 山口県 ☐ 大臣 ☒ 知事 (般-〇〇) 〇〇〇〇 号 (建設 工事業)

主任技術者（監理技術者）氏名 建設 三郎

☐ 解体工事業の場合

解体工事業登録 _____ 知事 〇〇〇〇 号

技術管理者氏名 _____

現場事務所を設置する場合は、現場事務所の住所、郵便番号、電話番号を記入すること。

建設業又は解体工事業の該当する方の□に✓すること。
建設業の場合は、業種（土木工事業、建築工事業、解体工事業の別）、大臣又は知事の許可の別、建設業許可番号、主任技術者（監理技術者等）氏名を記入すること。
建設リサイクル法に基づく解体工事業の場合は、登録した解体工事の登録番号、技術管理者の氏名を記入すること。

3. 対象建設工事の元請業者から法第12条第1項の規定による説明を受けた年月日
(請負契約によらないで自ら施工する場合は記載不要)

令和○年○月○日

元請業者から分別解体等の計画の内容（法第10条第1項に掲げる事項等）について、説明を受けた日を記入すること。

4. 分別解体等の計画等

建築物に係る解体工事については別表1

建築物に係る新築工事等については別表2

建築物以外のものに係る解体工事又は新築工事等については別表3

により記載すること。

5. 工程の概要

(工事着手予定日) 令和 年 月 日

別紙のとおり

(工事完了予定日) 令和 年 月 日

(できるだけ図面、表等を利用することとし、記載することができないときは、「別紙のとおり」と記載し、別紙を添付すること。)

(注意)

1 ☐欄には、該当箇所に「レ」を付すこと。

2 届出書には、対象建設工事に係る建築物等の設計図又は現状を示す明瞭な写真を添付すること。

*受付番号 _____

記載例※新築の場合

建築物に係る新築工事等(新築・増築・修繕・模様替)

分別解体等の計画等

使用する特定建設資材の種類		☒ コンクリート ☒ コンクリート及び鉄から成る建設資材 ☒ アスファルト・コンクリート ☒ 木材	
建築物に関する調査の結果	建築物の状況	築年数____年、棟数____棟 その他()	
	周辺状況	周辺にある施設 ☒ 住宅 ☐ 商業施設 ☐ 学校 ☐ 病院 ☒ その他(幼稚園) 敷地境界との最短距離 約 2 m その他(国道沿い、交通量多い)	
建築物に関する調査及び工事着手前に実施する措置の内容	建築物に関する調査の結果		工事着手前に実施する措置の内容
	作業場所	作業場所 ☒ 十分 ☐ 不十分 その他()	道路使用許可済
	搬出経路	障害物 ☒ 有(未舗装) ☐ 無 前面道路の幅員 約 12 m 通学路 ☒ 有 ☐ 無 その他(大型車通行可能)	交通整理員の常駐 敷鉄板設置により工事用道路の確保
	特定建設資材への付着物(修繕・模様替工事のみ)	☒ 有 (パーライト吹付け) ☐ 無	修繕・模様替工事の場合に該当があれば記載。 有の場合は、使用部位も記載。
	他法令関係(修繕・模様替工事のみ)	石綿(大気汚染防止法・安全衛生法石綿則) ☒ 有 (屋根スレート板) 特定建設資材への付着(☒ 有 ☐ 無) ☐ 無	関係法令の届出済 石綿作業主任者を選任済
	フロン(フロン排出抑制法)	☒ 有(業務用のエアコン・冷凍冷蔵機器のうちフロンが使用されているもの) ☐ 無	フロン類回収済
その他	近隣対策等の実施状況等を記載。		自治会協議済 周辺住民へ周知済
工程ごとの作業内容	工程		作業内容
	①造成等		造成等の工事 ☒ 有 ☐ 無 500万円以上の造成等工事は、別途届出(土木工事等)が必要。
	②基礎・基礎ぐい		基礎・基礎ぐいの工事 ☒ 有 ☐ 無
	③上部構造部分・外装		上部構造部分・外装の工事 ☒ 有 ☐ 無
	④屋根		屋根の工事 ☒ 有 ☐ 無
	⑤建築設備・内装等		建築設備・内装等の工事 ☒ 有 ☐ 無
廃棄物発生見込み	⑥その他(仮設)		その他の工事 ☒ 有 ☐ 無
	特定建設資材廃棄物の種類ごとの量の見込み並びに特定建設資材が使用される建築物の部分及び特定建設資材廃棄物の発生が見込まれる建築物の部分	種類	量の見込み 使用する部分又は発生が見込まれる部分
		☒ コンクリート塊	20 トン ☐ ① ☒ ② ☒ ③ ☒ ④ ☒ ⑤ ☐ ⑥
		☒ アスファルト・コンクリート塊	2 トン ☒ ① ☐ ② ☐ ③ ☐ ④ ☐ ⑤ ☒ ⑥
		☒ 建設発生木材	10 トン ☐ ① ☐ ② ☐ ③ ☒ ④ ☒ ⑤ ☒ ⑥
(注) ①造成等 ②基礎 ③上部構造部分・外装 ④屋根 ⑤建築設備・内装等 ⑥その他			
備考			